

国際栄養支援基礎研修

— 国際栄養支援の基本とラオスにおける栄養改善支援活動 — 開催要領

趣 旨 近年、世界では飢餓や低栄養に加え、過剰栄養を含む栄養不良の二重負荷、さらには地球環境問題との関連など、栄養・食生活をめぐる課題が複雑化しており、これらの課題は一国のみで解決することが難しく、国際社会が協力しながら、現場から政策まで多層的に取り組むことが求められています。

栄養・食生活は、人々の健康や生存を支える基盤であると同時に、社会や環境の持続可能性とも深く関わっているため、国際的な文脈の中で栄養課題を捉え、実際の支援現場で何が行われ、どのような工夫や課題があるのかを理解することは、栄養専門職にとって重要な学びの一つとなります。

本研修会は、日本栄養士会生涯教育制度の一環として実施する基礎研修です。研修受講は、今後、日本栄養士会が実施するラオスにおける栄養改善支援活動に関する派遣への応募を義務付けるものではなく、受講者が国際支援への関わり方を主体的に考えるための学習機会として位置付け、国際支援の基本的な考え方と実際の支援事例を通して、国際栄養支援への理解を深めることを目的として開催します。

その理解を踏まえたうえで、日本栄養士会によるラオスにおける栄養改善支援活動について、国際栄養支援の実践例の一つとして紹介し、その背景や意義、特徴を理解することを目指します。

主 催 公益社団法人日本栄養士会

参加資格 管理栄養士・栄養士の資格を有し、以下のいずれかに該当する者とします。

- (1) 国際支援・国際協力に関心のある者
- (2) 母子保健、学校給食、地域栄養活動等に従事している者
- (3) 将来的に国際栄養支援への関与を検討している者

開催形式 オンデマンド（e ラーニング）事前申込制

内 容

■国際栄養支援 基礎研修会（e ラーニング）

「国際栄養支援の基本とラオスにおける栄養改善支援活動」

受講期間 2026年3月2日（月）～3月15日（日）

講義内容

第1部：国際栄養支援の基本と実際（60分）

内容

1. 国際栄養支援の基本
2. 世界の栄養課題
3. 支援現場の実際
4. 専門職に求められる視点

講師 新潟県立大学 教授 村山 伸子

第2部：日本栄養士会によるラオスにおける栄養改善支援活動（60分）

内容

1. ラオスにおける栄養課題の概要

講師 公益社団法人日本栄養士会 国際交流室 室長補佐 河合 真哉

2. ラオスにおける栄養改善支援活動の背景

3. 栄養改善支援活動の全体像（母子支援、学校支援、人材育成）

講師 公益社団法人日本栄養士会 常務理事 阿部 絹子

参加定員 上限なし

受講料 3,300円（税込）（日本栄養士会会員は無料）

申込方法 日本栄養士会ホームページの研修申込サイト（manaaable）より申込受付

申込締切 2026年2月28日（土）

生涯教育単位 基本研修（その他）講義1単位

問合せ先 （公社）日本栄養士会 国際栄養支援基礎研修担当

E-mail : jda-intl@dietitian.or.jp TEL: 03-5425-6555

【受講にあたりご確認いただきたいこと】

・受講決定後、本会からのご連絡は、マイページご登録のメールアドレス宛に送付します。お申込みの前に、ご登録のメールアドレスが有効な状態か、ご確認ください。

・e ラーニングについての注意事項

- (1) セミナー動画は、本会が手配する動画配信サービスを利用して閲覧できる形で提供させていただきます。受講期間内であれば、いつでも視聴いただけます。ただし、受講期間の変更・延長及び再配信はお受けできかねます。
- (2) お使いのPC等のセキュリティ設定、ネットワーク混雑等の問題により、快適に受講いただけない場合があります。受講者の環境に起因して受講時のトラブルが生じた場合には、本会は責任を負いかねますのでご了承ください。
- (3) 配信するセミナー動画は、受講者のみの視聴を前提としています。受講者以外の方と一緒に視聴されたり、セミナー動画のアドレスを第三者に提供したりすることは厳にお控えください。また、本講義の動画、画像、音声、文書等は著作権法で保護されています。本講義の動画、画像、音声、文書等を著作権者の事前許諾なしに、複製、公衆送信、頒布、改変、他のウェブサイトに転載するなどの行為は一切禁止します。
- (4) 受講者が「e ラーニングによる受講」を利用するためには必要な通信機器、ソフトウェア、通信回線の利用料金、その他これらに付随して必要となる経費は、受講者の負担とします。